"仮主語のIt" と "it … to" 構文をマスターすると便利

英語では下記例1)のような主語の長い文章(頭でっかちの文章)は嫌われます。

例1) To study English online everyday, is good. (英語を毎日オンラインで勉強する事は良い事です) そこで長い主語 "To study English online everyday" をとりあえず it に置き換えておいて文末で it が何かを説明する構文が多用されます。その構文を使うと下記例2)のような言い回しなります。 例2) It is good to study English online everyday. (英語を勉強する事は良い事です)

"To study English online everyday" を It に置き換えて、It is good … と言い、まず相手の注意を引いておいてその後で"to study English online everyday"「毎日オンラインで英語の勉強をする事」を付け加えるわけです。この時の主語の it を仮においた主語ということで仮主語あるいは暫定主語の it と呼び、この構文を it … to 構文と呼んだりします。この構文は様々な場面で使えて、文章も比較的簡単に作れますので便利です。

例えば職場で「新入社員に英会話教育をする事が最も急務だと思います」と言いたい状況である と仮定します。あなたはどう表現しますか? 私ならこの順番です・・・

- ①私は思います
- ② それ(it)が最も急務だ
- ③ 若手社員に英会話教育をする事

それぞれ英語表現にしていきましょう・・・

- ① I think
- ② it is most urgent
- ③ to provide English communication training for junior employees
- ①から③を繋ぐと完成です。

I think it is most urgent to provide English communication training for junior employees. もう 1 問・・・「山本さんは英語でのプレゼンのスキルを上げる事が必要だと感じている」 ここでは新たに「山本さんは / 山本さんにとって」の情報が加わっています。

- ① 私は感じている
- ② それ(it)が必要だ
- ③ 山本さんにとって
- ④ 英語でのプレゼンのスキルを上げる事が

それぞれ英語表現にしていきましょう・・・

- ① I feel あるいは I understand (把握しているという意味あいで・・・)
- ② it is necessary あるいは it is essential
- (3) for Ms. Yamamoto
- 4 to improve her presentation skills in English
- ①から④を繋ぐと、 I feel it is necessary for Ms. Yamamoto to improve her presentation skills in English.

D-THRESHOLD SHORT LESSON 仮主語 OCT_2022

ここまでをまとめると・・・

It is ~~~ for XXX to OOO の構文は『XXX にとって OOO する事は~~~である。』の意味ただし、~~~ は形容詞を、OOO には動詞の原形を置きます。

上文の for Ms. Yamamoto のように、「山本さんにとって」を明らかにする必要があるときは、 It is necessary for Ms. Yamamoto (山本さんにとってそれは必要です) のように for Ms. Yamamoto を it is necessary の後に続けて置きます。

"for XXX" をつけ加えるかどうかは言い手の判断になります。下記のように言わなくても「みんなにとって」だとわかるような場合は省略します。

- It is good to balance work and family life. (仕事と家庭生活のバランス取ることは良い事です)
- It is important to minimize waste. (ゴミを減らす事は大切です)
- 一方、対象とする人(または人々)をはっきりと伝えたい場合の例文も表記しておきます。
- It is essential for us to start to think of our future more seriously.

(私たちの将来についてもっと真剣に考え始める事が必須です)

社内で社長がおっしゃった事なら for us は「社員全員」、世界のリーダーの誰かが世界に向けて発信した言葉なら「世界中の人々全員」と理解するべきでしょう。

以上です